

♣グリーン電力出資金出資者  
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

# グリーンコープでんき通信 VOL.71

2025年6月23日発行

一般社団法人グリーンコープでんき



## 地球温暖化によって、自然・環境に 深刻な状況が起こっています

先月末にスイス・アルプス山脈で氷河が崩壊し、ふもとの村の約90%が土砂に埋もれるというニュースはとてもショッキングでした。地元大学の環境・気候学教授によれば、「氷河の崩壊にはさまざまな要因が影響しているものの、同地の永久凍土がアルプス山脈の気温上昇の影響を受けていたことは分かっている」と述べています。

近年、地球温暖化に起因すると思われる様々な事象が頻発していますが、ティッピングポイント※を迎えているのでは？と、とても不安になります。多くの世界主要国で、2050年にネットゼロ目標が掲げられていますが、一人ひとりが身近にできることはやっていかなければならないと感じています。

※ティッピングポイント…物事がある一定の条件を超えると一気に広がる現象をさし、一般的には「転換点」と訳される。気候変動問題については、この転換点を過ぎると、気候変動が一気に進む恐れがあることが指摘されている。ただし、この転換点はひとつのものではなく、氷河の崩壊や融解、森林火災や永久凍土の融解などによる二酸化炭素の放出、海洋の酸性化による海洋生態系の崩壊など複数の現象に関連し、それらの相互作用により気候変動が加速するとされている。ティッピングポイントがいつ到来するかについては、必ずしも科学的に一致した見解はないが、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が警告する、産業革命以降の地球温度の1.5℃の上昇を超えるとその可能性が高いと言われている。ただし、一部の現象については、すでにこの転換点を越えているとの見方もある。(2022年3月作成)引用【一般財団法人環境イノベーション情報機構・環境用語集】

スヴァースバル諸島は、ノルウェー北部の島々で北極圏にあります。ホッキョクグマは地球温暖化による海水の減少における重要な生息場所を奪われ、絶滅の危機に瀕している代表的な動物です



地球の気温が上昇し、氷河が融解しています。看板は1982年に氷河の先端があつた地点です

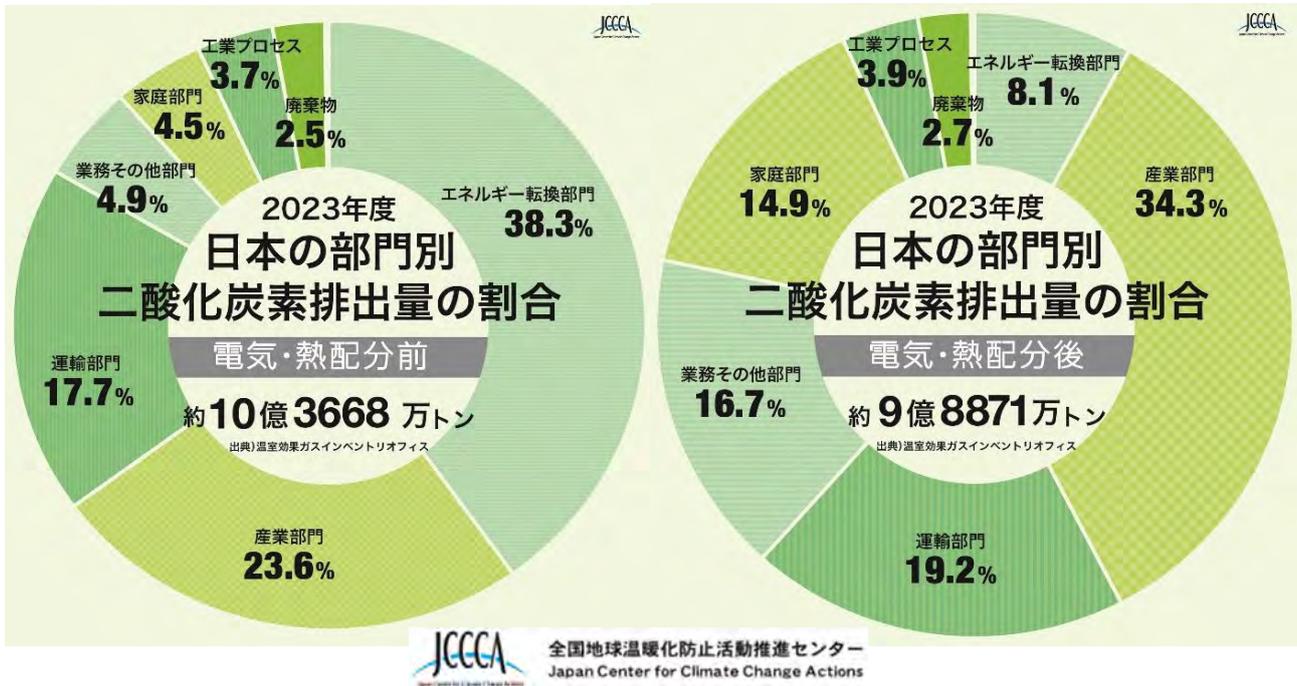


バン格拉ディシユは昔から雨季に洪水が起こっていましたが、近年は温暖化の影響で、洪水の起こる頻度が増え、住民の生活を脅かしています



乾季になると乾いたサバンナの草原では火事が起きます。地球温暖化による異常高温・熱波が続くと、火事は燃え広がりやすくなり、そこに生息するいきものは大きな影響を受ける恐れがあります

# 日本の部門別二酸化炭素排出量 エネルギー転換部門が40%を占めています



## 2023年度の部門別CO2排出状況

電気・熱配分前<sup>※1</sup>の2023年度CO2排出量は、発電等のエネルギー転換部門からの排出(38.3%)が最も大きく、次に産業部門(23.6%)、運輸部門(17.7%)と続きます。電気・熱配分後<sup>※2</sup>の排出量については、産業部門からの排出(34.3%)が最も大きく、運輸部門(19.2%)、業務その他部門(16.7%)、家庭部門(14.9%)と続きます。

日本の部門別二酸化炭素排出量の40%近くを占めるエネルギー転換部門では、その大部分は発電に伴う排出となっています。

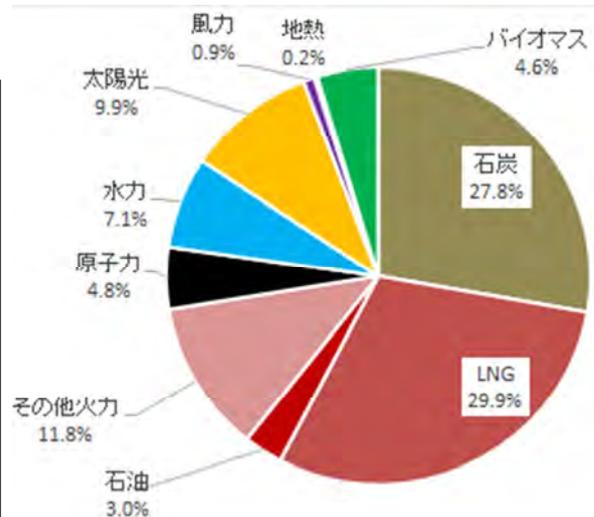
※1 電気・熱配分前は、発電や熱の生産に伴う排出量を、その電力や熱の生産者(例:発電事業者)からの排出として計算したもの。

※2 電気・熱配分後は、発電や熱の生産に伴う排出量を、その電力や熱の消費者からの排出として計算したもの。

例えば、家庭で電気を使用した場合、それに伴う排出量は電気・熱配分前には家庭部門に含まれないが、電気・熱配分後排出量には含まれる。

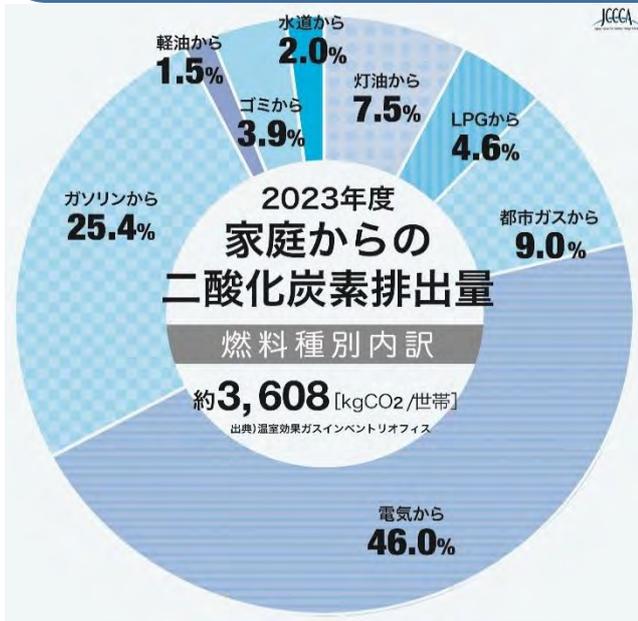
## エネルギー転換部門の排出量削減について

二酸化炭素の排出を削減するためには、エネルギー転換部門での排出量削減が大きなポイントになります。2022年度における日本の電源構成では、火力発電が72.5%を占め、再エネ(水力含む)が22.7%、原子力が4.8%です。2030年には再エネの割合を36~38%とする目標が掲げられています。※原子力も20~22%の目標とされていますが、原発再稼働は論外であり、また、実現性に乏しいと指摘されています。グリーンコープでんきでは、屋根上に自家消費型の太陽光発電設備を設置し、(オンサイトPPAグリーン市民発電所)再エネ電源の拡大を進めています。



出所: 電力調査統計などより ISEP 作成

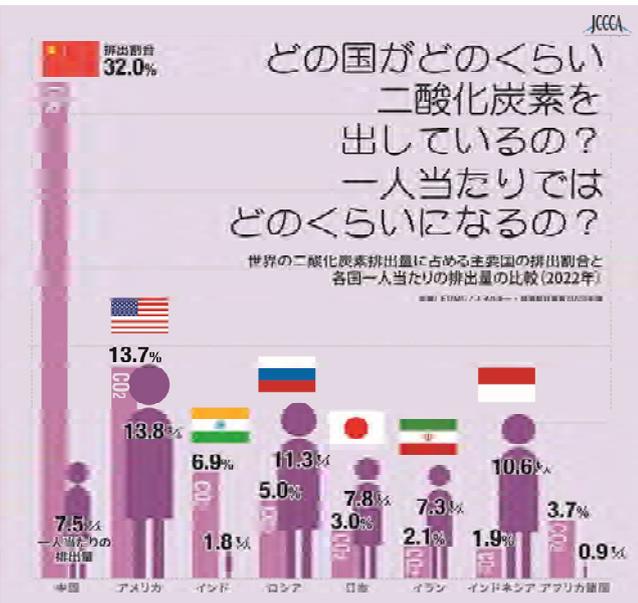
# 二酸化炭素の排出を削減するために 身近で出来ることのひとつ ～CO<sub>2</sub>を排出しない電気を選ぶ～



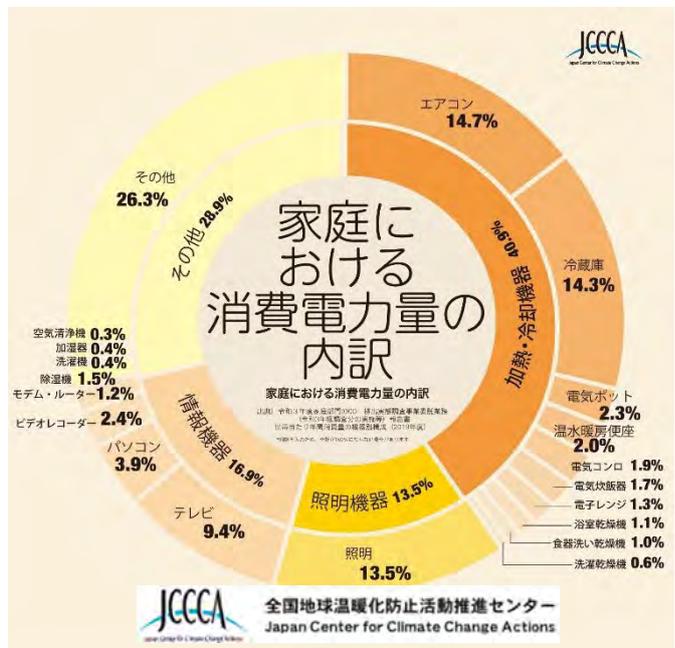
JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター  
Japan Center for Climate Change Actions

歴史的に温暖化の原因である温室効果ガスの多くは先進国が排出してきましたが、温暖化の影響(洪水、干ばつ、台風、海面上昇など)を最も受けやすいのは後進国という『気候の不公平』の問題があります。また、過去の排出が長期にわたって大気中に残るため、私たちの後の世代にとっても大きな影響を与え続けます。

- 家庭からのCO<sub>2</sub>排出量を燃料種別内訳で見ると、半分近くの46.0%を電気が占めており、25.4%のガソリン、都市ガス、LPGと続きます。
- 家庭で使用する電気を発電時に二酸化炭素を排出しない電気を選べば、家庭から出す二酸化炭素の排出を半減することができます。「電気を選ぶ」ことは身近にできる脱炭素の取り組みとして、とても有効な手段と言えます。
- グリーンコープでんきのご家庭向けの低压プランでは、原発フリー且つ発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないでつくられる非化石電源に2024年度供給分から非化石証書を充てていることで、名実ともに「CO<sub>2</sub>を排出しない電気」をお届けしています。
- グリーンコープでんきを利用することは、脱炭素社会の実現に大きく貢献します。お知り合いの方にも、是非、グリーンコープでんきをお勧めください。



JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター  
Japan Center for Climate Change Actions



JCCCA 全国地球温暖化防止活動推進センター  
Japan Center for Climate Change Actions

家庭における消費電力量の内訳を見ると、40.9%が冷蔵庫やエアコンなどの加熱・冷却機器で使われる電力で、照明機器13.5%、テレビ・パソコンなどの情報機器16.9%と続きます。節電も身近にできる脱炭素の取り組みと言えます。使っていない電気は消すなどの習慣をつけたいものです。

## ■グリーンコープでんき

5月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、グリーンコープ事業所、組合員契約件数、グリーンコープ商品のお取引先も含め下表のとおりです。

《 2025年5月27日現在の単協別実績 》

生協名	GC事業所 契約件数	組合員 契約件数	契約容量 (kW)
GCしがまる生協	2	2	19
GC生協おおさか	6	56	253
GC生協ひょうご	6	36	168
GC生協とっとり	3	52	244
GC生協(島根)	2	102	446
GC生協おかやま	7	201	865
GC生協ひろしま	9	249	1,100
GCやまぐち生協	5	464	1,987
GC生協ふくおか	95	1,889	8,531
GC生協さが	18	119	733
GC生協(長崎)	15	217	1,173
GC生協くまもと	37	526	2,778
GC生協おおいた	17	305	1,360
GC生協みやざき	8	154	652
GCかごしま生協	12	203	964
単協計	242	4,575	21,273
グリーンコープでんき(低圧)	76		653
グリーンコープでんき(高圧)	73		5,285
総合計	391	4,575	27,211

## ■5月の電源構成

### 【関西電力エリア】

ながわ小水力発電所	86.0%
卒FIT太陽光発電	13.2%
三峰川第一・第二発電所	0.8%

### 【中国電力エリア】

三峰川第一・第二発電所	86.9%
卒FIT太陽光発電	9.1%
敦賀グリーンパワー	4.0%

### 【九州電力エリア】

三峰川第一・第二発電所	63.4%
古賀清掃工場	27.1%
卒FIT太陽光発電	4.2%
敦賀グリーンパワー	3.5%
杖立温泉熱バイナリー発電所	1.4%
馬洗瀬小水力発電所	0.4%

※グリーンコープでんきの低圧電気はその電源となる発電所を特定しています。

※グリーンコープでんきの低圧電気には原発由来の電気は一切含まれていません。

※グリーンコープでんきの低圧電気はCO2排出ゼロです。

本年7月、8月、9月の3か月の電気・ガス料金支援の詳細が、5月27日(火)に経済産業省から公表されました。うち、電気料金の値引き単価(税込み)は以下の通りとなります。電気料金から値引きいたしますので、料金明細票をご確認ください。  
電気[低圧] 2.0円/kWh(7、9月)、2.4円/kWh(8月)  
電気[高圧] 1.0円/kWh(7、9月)、1.2円/kWh(8月)

## ■市民発電所

《 2025年度4月5月の発電・売電出力制御実績 》

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)	出力制御
神在太陽光発電所	1,057	212,570	8,502,800	115
平池水上太陽光発電所	1,260	327,333	11,783,981	10:54
深年太陽光発電所	1,550	247,226	8,900,140	84:00
若宮物流センター	47	11,115	400,125	0:00
広島物流センター	47	11,728	422,215	0:00
やまぐち西部地域本部	54	11,696	374,261	0:00
グリーン未来ソーラー(10箇所)	374	62,795	1,318,699	2,441回
オンサイトPPA発電所(13箇所)	785	86,482	1,572,243	—
合計	5,174	970,945	31,702,221	

グリーンコープでんき 市民発電所の24年度同月との実績比  
[発電量] 24年度4・5月比 115.4% (129,383kWh)  
[売電額] 24年度4・5月比 113.1% (3,866,320円)

- ・神在太陽光発電所・平池太陽光発電所・深年太陽光発電所・グリーン未来ソーラーでは、代理制御による出力制御時間(回数)を含みます。
- ・若宮物流センター・広島物流センター・山口西部地域本部の本来制御は他オンライン発電所で代理制御されています。

## ■グリーン電力出資金

- ・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込まれた額)は、10億5千5百98万円になっています。
- ・出資目標額(積立目標額)は、2025年3月27日現在で、10億8千3百81万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
しがまる生協	3	3	570,000
GC生協おおさか	166	196	14,500,000
GC生協ひょうご	83	94	6,440,000
GC生協とっとり	121	137	11,720,000
GC生協(島根)	227	240	11,420,000
GC生協おかやま	155	176	14,580,000
GC生協ひろしま	617	772	82,519,000
GCやまぐち生協	521	619	39,130,000
GC生協ふくおか	4,903	5,820	505,678,000
GC生協さが	293	341	43,735,000
GC生協(長崎)	549	628	55,719,000
GC生協くまもと	1,411	1,746	131,426,000
GC生協おおいた	756	866	67,744,000
GC生協みやざき	252	293	24,530,000
GCかごしま生協	641	757	74,101,000
合計	10,698	12,688	1,083,812,000

- ・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費や発電事業立ち上げのための資金(社債)に充てられています。
- ・2025年3月次支出総額は9億1千5百万円で、残高は1億4千9百万円となっています。
- ・市民発電所の建設と調査・検討を継続して進めています。

これまで出資いただいた金額	1,055,989,500
これまで支出した事業と金額	915,082,559
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所(10)、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所、オンサイトPPAグリーン市民発電所(14)	
グリーン電力出資金の残高	140,906,941